

防災のことについて勉強して、被災地では衣類や食料、水などが必要なだけでなく、衛生面のことも考えなければならないということが分かりました。南海トラフ地震に備えて、準備をしようと思いました。

今まで以上に避難所の人々のくらしが分かりました。自分の防災についてもよく考えることができました。これから、自分に何が必要なのかも知ることができて良かったです。

地震のことを中心に学びました。いつ起こるかわからない地震だから、どうすればいいのかよく分かりました。学習をしたことをもとに、地震に備えていこうと思いました。

高校生と防災学習をすることで、より深く地震への備えや実際の状況などを知れました。今の自分の備えをふりかえてみると、不足していることが分かったので、もっと備えなければと思いました。

地震が起きた時は、避難したらすぐ終わり、というわけではなく、避難所でも多くの困難が伴うことを知りました。だから、防災・減殺することの大切さを考え、非常用持ち出し袋を用意することと、みんなで力を合わせ、団結することも大切だと感じました。

災害が起こったら周りの人と助け合おうと思いました。習ったことを本当にするとき、考えているだけではなく、自分から行動しようと思いました。習ったことを知っているだけではなく、伝えていくことも大切だと感じました。

今日、高校生に教えてもらったことは、ずっと忘れないようにしたいです。これから南海トラフ地震も起こると聞いたので、いざという時のために、近所の方々との交流をきちんとして、助け合える関係を築きたいです。

地震が起きて、絶望してしまうわけではなく、こんなに大変な時だからこそ、被災者の皆さんは立ち向かっていくのだなと思うと、感動しました。地震に備えることも大切ですが、一人一人の思いやりの心を大切にしたいと思いました。